

# 長和町（第1期）下水道ストックマネジメント計画（当初）

長和町産業建設課上下水道係  
策定 令和7年（2025年）12月

## ①ストックマネジメント実施の基本方針

長和町においては、旧長門町で平成5年度に長門処理区、平成11年度に鷹山処理区の下水道事業に着手し下水道整備を進めてきた。その結果、2023（令和5）年度末時点で面整備状況は長門処理区は、273ha、鷹山処理区については42ha、マンホールポンプ場設置数は両処理区合計16箇所となり、現在も事業を進めている。

供用開始後、長門処理区は27年、鷹山処理区は23年経過し、各施設とも老朽化により今後改修や更新の時期を迎えることから、下水道資産の老朽化問題が顕在化しつつあり、下水道施設・設備を俯瞰した計画的かつ効率的な改築事業の推進を図るため、下水道ストックマネジメント支援制度の導入が急務となっている。

ストックマネジメントの実施にあたっては、下水道施設のリスク評価を踏まえ、施設管理の目標（アウトカム、アウトプット）および長期的な改築事業のシナリオを設定し、点検・調査計画および修繕・改築計画を策定することとする。

また、これらの計画を実施し、結果を評価、見直しを行うとともに、施設情報を蓄積し、ストックマネジメントの精度向上を図っていく。

【状態監視保全】・・・ 機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

※状態監視保全とは、施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法をいう。

【時間計画保全】・・・ 機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な施設を対象とする。

※時間計画保全とは、施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法をいう。

【事後保全】…………… 機能上、特に重要でない施設を対象とする。

※事後保全とは、施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法をいう。

## ②施設の管理区分の設定

### 1) 状態監視保全施設

#### 【管路施設】

| 施設名称      | 点検・調査頻度                                 | 改築の判断基準      | 備考             |
|-----------|---|--------------|----------------|
| 管きよ・マンホール | 1回/30年の頻度で調査を実施                         | 緊急度Ⅰ・Ⅱで改築を実施 | 一般環境下          |
| 管きよ・マンホール | 1回/5年の頻度で点検を実施<br>点検で異常を確認した場合には調査を実施。  | 緊急度Ⅰ・Ⅱで改築を実施 | 腐食環境下          |
| 管きよ・マンホール | 1回/15年の頻度で点検を実施<br>点検で異常を確認した場合には調査を実施。 | 緊急度Ⅰ・Ⅱで改築を実施 | 一般環境下調査後16年経過管 |
| マンホール蓋    | 1回/5年の頻度で点検を実施<br>点検で異常を確認した場合には調査を実施。  | 健全度1・2で改築を実施 |                |

#### 【処理場・ポンプ場施設】

| 施設・設備名称              | 点検・調査頻度  | 改築の判断基準            | 備考 |
|----------------------|--|--------------------|----|
| スクリーンかす設備<br>(自動除塵機) | 1回/7～10年の頻度で点検・調査を実施し、<br>修繕・改築の必要性を検討する。<br>保守点検は日常的に行う。                    | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| ポンプ設備<br>(汚水ポンプ)     | 1回/7～10年の頻度で点検・調査を実施し、<br>修繕・改築の必要性を検討する。<br>保守点検は日常的に行う。                    | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| 反応タンク設備<br>(曝気装置)    | 1回/7～10年の頻度で点検・調査を実施し、<br>修繕・改築の必要性を検討する。<br>保守点検は日常的に行う。                    | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| 最終沈殿池設備<br>(汚泥掻寄機)   | 1回/7～10年の頻度で点検・調査を実施し、<br>修繕・改築の必要性を検討する。<br>保守点検は日常的に行う。                    | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| 汚泥濃縮設備<br>(汚泥掻寄機)    | 1回/7～10年の頻度で点検・調査を実施し、<br>修繕・改築の必要性を検討する。<br>保守点検は日常的に行う。                    | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| 汚泥脱水設備               | 1回/7～10年の頻度で点検・調査を実施し、<br>修繕・改築の必要性を検討する。<br>保守点検は日常的に行う。                    | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| 躯体                   | 1回/10～20年の頻度で視覚調査、1回/25年の頻度でコンクリート(圧縮強度・中性化)、鉄筋はつり等の調査を実施する。<br>保守点検は日常的に行う。 | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |

| 施設・設備名称  | 点検・調査頻度                                | 改築の判断基準            | 備考 |
|----------|--|--------------------|----|
| 内部防食     | 1回/5～10年の頻度で視覚調査を実施する。<br>保守点検は日常的に行う。 | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |
| 外装・屋根仕上げ | 1回/5～10年の頻度で視覚調査を実施する。<br>保守点検は日常的に行う。 | 健全度2以下のものを改築対象とする。 |    |

## 2) 時間計画保全施設

### 【管路施設】

| 施設名称 | 目標耐用年数       | 備考  |
|------|--------------|-----|
| 管きよ  | 標準耐用年数 (50年) | 圧送管 |

### 【処理場・ポンプ場施設】

| 施設名称   | 目標耐用年数              | 備考 |
|--------|---------------------|----|
| 受変電設備  | 標準耐用年数の1.5倍程度 (30年) |    |
| 自家発電設備 | 標準耐用年数の1.5倍程度 (23年) |    |
| 監視制御設備 | 標準耐用年数の1.5倍程度 (23年) |    |

## 3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管きよ施設】 … 該当なし

管きよ

【雨水・汚水ポンプ施設】 … 該当なし

ポンプ本体

【水処理施設】 … 該当なし

送風機本体もしくは  
機械式エアレーション装置

【汚泥処理施設】 … 該当なし

汚泥脱水機

③ 改築実施計画

1) 計画期間 

|                |   |                 |
|----------------|---|-----------------|
| 2026 (令和 8) 年度 | ～ | 2030 (令和 12) 年度 |
|----------------|---|-----------------|

2) 個別施設の改築計画

【管路施設】

該当なし (計画期間で点検・調査を実施する。点検・調査実施後に改築計画を策定予定)

【処理場・ポンプ場施設】

| (1)          | (2)        | (3)       | (4)               | (5)           | (6)  | (7)       | (8) |
|--------------|------------|-----------|-------------------|---------------|------|-----------|-----|
| 処理場・ポンプ場等の名称 | 合流・汚水・雨水の別 | 対象施設      | 設置年度              | 供用年数          | 施設能力 | 概算費用(百万円) | 備考  |
| 長門水処理センター    | 汚水         | スクリーンかす設備 | 1997              | 27            |      | 33.58     |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 負荷設備      | 1997<br>～<br>2000 | 24<br>～<br>27 |      | 71.14     |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 汚泥貯留設備    | 2000              | 24            |      | 6.67      |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 監視制御設備    | 1997<br>～<br>2017 | 7～<br>27      |      | 105.18    |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 汚泥脱水設備    | 1999              | 25            |      | 18.6      |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 空調・換気設備   | 1997              | 27            |      | 1.4       |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 電気設備      | 1997              | 27            |      | 54.87     |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 消火災害防止設備  | 1997              | 27            |      | 12.29     |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 受変電設備     | 1997              | 27            |      | 40.13     |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 自家発電設備    | 1997              | 27            |      | 67.28     |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 汎用ミニUPS   | 2017              | 7             |      | 0.94      |     |
| 長門水処理センター    | 汚水         | 計測設備      | 1997<br>～<br>2000 | 24<br>～<br>27 |      | 101.67    |     |
| 鷹山水処理センター    | 汚水         | スクリーンかす設備 | 2003              | 21            |      | 39.55     |     |
| 鷹山水処理センター    | 汚水         | 負荷設備      | 2002              | 22            |      | 26.33     |     |
| 鷹山水処理センター    | 汚水         | 監視制御設備    | 2002              | 22            |      | 9.36      |     |

| (1)          | (2)        | (3)     | (4)               | (5)           | (6)  | (7)       | (8) |
|--------------|------------|---------|-------------------|---------------|------|-----------|-----|
| 処理場・ポンプ場等の名称 | 合流・汚水・雨水の別 | 対象施設    | 設置年度              | 供用年数          | 施設能力 | 概算費用(百万円) | 備考  |
| 鷹山水処理センター    | 汚水         | 電気設備    | 2002              | 22            |      | 17.67     |     |
| 鷹山水処理センター    | 汚水         | 汎用ミニUPS | 2002              | 22            |      | 1.17      |     |
| 鷹山水処理センター    | 汚水         | 計測設備    | 2002              | 22            |      | 24.45     |     |
| 和田橋ポンプ場      | 汚水         | 汚水ポンプ設備 | 2000              | 24            |      | 4.21      |     |
| 和田橋ポンプ場      | 汚水         | 受変電設備   | 2000              | 24            |      | 8.19      |     |
| 和田橋ポンプ場      | 汚水         | 自家発電設備  | 2000              | 24            |      | 6.2       |     |
| 和田橋ポンプ場      | 汚水         | 負荷設備    | 2000              | 24            |      | 8.19      |     |
| 和田橋ポンプ場      | 汚水         | 監視制御設備  | 2000              | 24            |      | 6.2       |     |
| マンホールポンプ場    | 汚水         | 汚水ポンプ設備 | 1997<br>～<br>1999 | 25<br>～<br>27 |      | 63.18     |     |
| マンホールポンプ場    | 汚水         | 受変電設備   | 1997<br>～<br>2001 | 23<br>～<br>27 |      | 55.93     |     |
| マンホールポンプ場    | 汚水         | 負荷設備    | 1997<br>～<br>2001 | 23<br>～<br>27 |      | 102.84    |     |
| マンホールポンプ場    | 汚水         | 計測設備    | 1997<br>～<br>2001 | 23<br>～<br>27 |      | 17.78     |     |
| マンホールポンプ場    | 汚水         | 監視制御設備  | 1997<br>～<br>2013 | 11<br>～<br>27 |      | 13.22     |     |
| 合計           |            |         |                   |               |      | 918.22    |     |

※供用年数は2024年度(計画策定時)時点、消費税10%を含む

備考1) 改築を実施する施設のうち、②1)において状態監視保全施設もしくは時間計画保全施設に分類したものを記載する。

備考2) 対象施設には、改築を行う部位、設備名称を記載する。記載にあたっては、「下水道施設の改築について(令和4年4月1日下水道事業課長通知)」別表の中分類もしくは小分類を参考とする。

備考3) 「下水道施設の改築について(令和4年4月1日国水事第67下水道事業課長通知)」別表に定める年数を経過していない施設については、備考欄において、同通知に定める「特殊な環境により機能維持が困難となった場合等」の内容について、以下の該当する番号及び概要を記載する。

- ① 塩害など避けられない自然条件あるいは著しい腐食の発生など計画段階では想定し得ない特殊な環境条件により機能維持が困難となった場合
- ② 施設の運転に必要なハード、ソフト機器の製造が中止されるなど、施設維持に支障をきたす場合
- ③ 省エネ機器の導入等により維持管理費の軽減が見込まれるなど、ライフサイクルコストの観点から改築することが経済的である場合
- ④ 高温焼却の新たな導入等により下水汚泥の焼却に伴い発生する一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)排出量を削減する場合
- ⑤ 地球温暖化対策の推進に関する法律(平成 10 年法律第 117 号)に規定する「地方公共団体実行計画」に位置づけられ、当該計画の目標達成のために施設機能を向上させる必要がある場合
- ⑥ 標準活性汚泥法その他これと同程度に下水を処理することができる方法より高度な処理方法により放流水質を向上させる場合
- ⑦ 下水道施設の耐震化を行う場合
- ⑧ 浸水に対する安全度を向上させる場合
- ⑨ 下水道施設の耐水化を行う場合
- ⑩ 樋門等の自動化・無動力化・遠隔化を行う場合
- ⑪ マンホール蓋浮上防止対策を行う場合
- ⑫ 合流式下水道を改善する場合

備考 4) 改築事業の実施にあたっては、別途、詳細設計等において、効率的な手法等を検討すること。

④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

| 概ねのコスト縮減額               | 試算の対象時期  |
|-------------------------|----------|
| 処理場・ポンプ場施設 約 36.0 百万円/年 | 概ね 100 年 |